

## 第6学年1組 国語科学習指導案

日時 令和5年10月20日（金）

第5校時 13:15～14:00

学校名 板橋区立中台小学校

対象 第6学年1組 36名

会場 3階 6年1組教室

授業者 教諭 竹内伸

### 研究主題

自分の考えや思いを伝え合うことのできる児童の育成

～国語科における伝え合う力を伸ばす学習を通して～

### 分科会の目指す児童像

多様な考えを理解し、自分の意見を再構築できる子

#### 1 単元名 「話し合って考えを深めよう」

教材名 「学級討論会をしよう」

#### 2 単元の目標

「学級討論会」という活動を通して、「自分の話し方を見つめ直す」「新しい意見を知って、見方や考え方を広げ、深める」ことができる。

#### 3 単元の評価規準

	ア 知識・技能	イ 思考・判断・表現	ウ 主体的に学習に取り組む態度
話すこと・聞くこと	① 話し言葉と書き言葉の違いに気づいている。 ② 情報と情報の関連付けの仕方について理解し使っている。	① 話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら自分の考えをまとめている。 ② 互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い考え方を広げ、深めている。	これまでの学習や経験を振り返って学習課題を明確にし、学習の見通しをもって、粘り強く計画的に話し合い、考え方を広げ、深めようとしている。

#### 4 児童の実態

本学級の児童は1学期に「友達の意見を聞いて考えよう」の学習を行い、話し手の考えと自分の考えを比較して、共通点や相違点を整理したり、共感した内容や納得したこと、逆に、納得できないことを取り上げたりすることを通して、自分の考えをまとめる活動を経験している。この経験を踏まえ、ここでは対立する立場の論点や争点をはっきりとさせながら、ルールに沿って討論する力の獲得を目指す。

今年度、校内研究のテーマである「伝え合う」をもとに、教師の意図としては、勝ち負けにこだわるのではなく、友達の意見を聞いて「なるほど」と感心したり、新しい視点を得たりする姿を目

指していく。この「学級討論会をしよう」の学習を通して、友達の意見に耳を傾け、それによって自分の考えを見直したり深めたりすることができるようになってもらいたいと願っている。

## 5 単元観、学習指導要領の位置付け

本単元では、学習指導要領における【思考力・表現力等】の「A話すこと・聞くこと」(1)オ「互いの立場や意図を明確にしながらか計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりすること。」を取り上げて指導を行う。

本単元では、「A話すこと・聞くこと」の言語活動例「ウ それぞれの立場から考えを伝えるなどして話し合う活動」を具体化した「学級討論会をしよう」という言語活動を位置付ける。

ここで取り上げる「学級討論会をしよう」は、論題についての考えをまとめ、二つの立場に分かれて討論するというものである。討論を深まりのあるものにするためには、ただ理由をあげればよいのではなく、説得力のある理由をあげることが求められる。説得力のある理由とは、多くの人がうなづく具体的な例や理由に関係する数値や資料、納得でき新しい見方や考え方などがある。討論に至る準備段階では、事実と意見を区別し、説得力のある理由を収集・選別したり、相手の主張の理由や相手からの質問を想定したりする時間を十分設けて、討論に必要な力を付けさせたい。

児童が「見方や考え方を広げ、深める」実現に向けては、以下の3つの手立てを行う。

(1) 実態やねらいに合った論題を選択する。

学級討論会では、学級の実態に合わせ、児童の興味があることや、知りたいと思っていることを考慮したうえで論題を決める。

(2) 資料を活用して、説得力のある意見を言えるようにする。

主張につながる実物や、客観的なデータを資料として掲示をさせる。例えば、グラフで数値を示したり、インタビューしてきた人の言葉を引用したりする。どちらの場合も、児童が立場と主張を考えた上で活用させる。

(3) 全員が参加できる場を設定する。

司会、賛成・反対、聞き手(判定員)を設け、様々な立場から学級討論会に参加できるようにする。また、賛成・反対グループの中でも、初めの主張・質問に答える人・最後の主張をする人と分担を行い、特定の人だけが発話するのではなく、多くの人が意見を述べるようにする。

## 6 単元指導計画 (8時間扱い)

次	時	〇めあて 主な学習活動	・指導上の留意点
一	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 討論会のねらいや準備について知り、学習の見通しをもつことができる。</li> <li>① 討論会のめあてや準備、役割分担について確認する。ワークシート①②</li> <li>② 学習計画に基づき学習の見通しをもつ。</li> <li>③ CDを聞いて、討論会の進め方を確かめる。ワークシート③</li> <li>④ 討論会での主張や質問の仕方について気が付いたことを話し合う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童が討論会を行う価値についてしっかりと理解するように指導を行う。</li> <li>・勝ち負けではなく、討論会を通して、自分の考えを広げたり深めたりすることを目的とすることをねらいとして位置づける。</li> <li>・討論会の進め方には順序とルールがあることを視覚的に理解をさせる。</li> <li>・CDを聞きながら主張や質問の方法を確認させる。</li> </ul>
	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「伝えにくいことを伝える」(6年光村図書)を読み、伝え方について理解することができる。</li> <li>① 「伝えにくいこと」を伝えた経験について話し合う。ワークシート④</li> <li>② 自分の経験と重ねながらコラム「伝えにくいことを伝える」を読む。</li> <li>③ 様々な伝え方を比べ、よい伝え方について考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の主張や質問をする際の伝え方について、教科書の文章から違いを比べられるようにする。</li> <li>・様々な伝え方があることに気付かせ、討論を行う際の伝え方について考えさせる。</li> </ul>

二	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学級討論会の準備をすることができる。</li> <li>① 決定した論題に対する自分の考えを両方の立場になって書く。ワークシート⑤</li> <li>② 自分の主張に対する資料を調べる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分が興味や関心がある論題について選ばせるようにする。</li> <li>・両方の立場で考えることは、討論でどの役割になっても、討論を深めるために大切であることを伝える。</li> <li>・図や表等、視覚的な資料を集めさせるようにする。</li> </ul>
	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学級討論会の準備をすることができる。</li> <li>① 班ごとに相談して討論会の準備をする。ワークシート⑥</li> </ul> <p>〈手順〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・班内での役割分担をする。</li> <li>・初めの主張・予想される質問とその答えについて話し合う。</li> <li>・最後の主張を考える。</li> <li>・話し合った内容をワークシートにまとめる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・班ごとに相談し、グループの中で主張内容や、方法を考えさせる。</li> <li>・自分の主張がより説得力が増すような資料を効果的に活用できるように、声かけを行う。</li> </ul>
三	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 相手の主張を聞き、自分の考えと比べながら発言することができる。</li> <li>① めあてを確認する。</li> <li>② 討論会の流れを確かめる。</li> <li>③ 第1回の討論会を行う。</li> <li>④ 討論会について振り返る。</li> <li>・役割が果たせたか。</li> <li>・うまく討論することができたか。</li> <li>・討論会を見ていて気が付いたこと。</li> <li>⑤ 次回への課題をまとめる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・討論会の流れを確認しながら進めていく。途中で、進行が難しくなった場合には、適時確認を行いながら進めていく。</li> <li>・自分の役割を確認しながら行い、振り返りを行う中で、次時への課題をもたせるようにする。</li> </ul>
	6 (本時)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 相手の主張を聞き、自分の考えと比べながら発言することができる。</li> <li>① めあてを確認する。</li> <li>② 討論会の流れを確かめる。</li> <li>③ 第2回の討論会を行う。</li> <li>④ 討論会を振り返る。</li> <li>⑤ 次回への課題をまとめる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回の振り返りの中で出た、学級の課題と個人の課題を確認させた上で、学級討論会を行う。</li> <li>・よかった点、うまくいかなかった点を振り返り、うまくいかなかった点については、理由を考えさせる。</li> </ul>
	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 相手の主張を聞き、自分の考えと比べながら発言することができる。</li> <li>① めあてを確認する。</li> <li>② 討論会の流れを確かめる。</li> <li>③ 第3回の討論会を行う。</li> <li>④ 討論会を振り返る。</li> <li>⑤ 次回への課題をまとめる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・討論会を通して、自分の考えに変化があったか、見方が広がったかについて振り返りを行う。</li> </ul>
	8	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 討論会について学習したことを振り返り、まとめることができる。</li> <li>① 学習を振り返る。</li> <li>② 成果をまとめる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・討論会を通して、自分のどのような学びがあったのか、成果をまとめさせる。</li> </ul>

論題案 ①朝ご飯は、ご飯かパンか。②北海道か沖縄か。③給食か弁当か。  
④宿題は、すぐやるか、後にやるか。⑤小学生から携帯をもつべきか。

7 本時 (6/8)

(1)ねらい

相手の主張を聞き、自分の考えと比べながら発言したり、考えを深めたりすることができる。

(2)展開

	○具体的な学習活動・予想される児童の反応	◇指導上の留意点 ■学習活動に即した具体的な評価規準(評価方法)
導入5分	1 めあてを確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">                     主張グループ                      説得力のある話し方をしよう。                      聞くグループ                      どちらのグループの方が説得力があるか考えながら聞こう。                 </div>	
展開30分	2 討論会を行う。 論題 宿題は、すぐやるか、後にやるか。 【流れ】 ① 最初の主張 それぞれ 各2分(計4分) ② 相談タイム3分 ③ 質疑応答 A→B 2つ 各2分(計6分) 質疑応答 B→A 2つ 各2分(計6分) ④ 相談タイム3分 ⑤ 最後の主張 それぞれ 各2分(計4分) ⑥ 判定タイム5分 ⑦ まとめ	◇聞いている側の児童は、メモをするように指示する。観点を示して、聞かせる。 ◇相手を攻撃するような発言などが出たら、コラム「伝えるにくいことを伝える」を想起させる。 ■相手の主張を聞き、自分の考えと比べながら発言することができている。 (ワークシート・発言)
まとめ10分	3 討論会を班で振り返る。  4 話し合ったことを発表する。  5 次時の学習を確認する。	◇観点を与える。 ①役割が果たせたか。 ②討論会全体を通して気がついたこと。 ※観点で良かった点・うまくいかなかった点に分けて振り返らせる。 ◇良かった点、うまくいかなかった点を簡潔に発表させ、共有させる。 ◇うまくいかなかった点については、その理由を考えさせ、次のめあてにつなげさせる。

8 板書計画

⑦ 司会のまとめ ⑥ 判定タイム25分 ⑤ 最後の主張(B・A) 各2分(計4分) ④ 相談タイム3分 ③ 質疑 応答(B→A) 各2分(計4分) ② 相談 タイム3分 ① 最初の主張(A・B) 各2分(計4分) 論題 【学校の昼食は給食か弁当か。】	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     肯定・否定グループ                      説得力のある話し方をしよう。                      聞くグループ                      どちらのグループの方が説得力があるか考えながら聞こう。                 </div>
--	--

## 9 ワークシート

### ア 司会者用

司会者用シート	
① 「討論会を始めます。話題は」	(側)の初めの主張です。 ( )です。
② 「初めにA」	(側)の初めの主張です。 二分でお願いします。「・・・」時間です。「 次はB」 (側)の初めの主張です。二分でお願いします。「・・・」 時間です。
③ 「作戦タイムを取ります。時間は三分です。相手への質問をまとめてください。」「・・・」時間です。	(側)の初めの主張です。二分でお願いします。「・・・」 時間です。
④ 「では、質疑応答です。A」	(側)からB) (側)へ質問をし、B) (側)はそれに答えて下さい。時間全部で六分です。「・・・」時間です。「次は、B) (側)からA) (側)へ質問をし、B) (側)はそれに答えて下さい。時間全部で六分です。「・・・」時間です」
⑤ 「二度目の作戦タイムをとります。時間は三分です。」「・・・」時間です。	(側)の初めの主張です。二分でお願いします。
⑥ 「最後の主張に入ります。まずB) (側)お願いします。時間は二分です。」「・・・」時間です。	(側)の初めの主張です。二分でお願いします。
⑦ 「判定をします。時間は五分です。」「・・・」時間です。	(側)の初めの主張です。二分でお願いします。
⑧ 「判定です。」「(聞くグループ)に拳手をさせ、判定を言う。(	(側)の初めの主張です。二分でお願いします。
⑨ 「今回は」	(側)の初めの主張です。二分でお願いします。
⑩ 「ありがとうございます。今回の話題では、( ) ( )が勝ちました。私は ( ) ( )と思いました」	(側)の初めの主張です。二分でお願いします。
「以上で討論会をおわります。」	

### イ メモシート

振り返り	質問	相手の主張
<ul style="list-style-type: none"> <li>・うまくいかなかった点</li> <li>・よかった点</li> </ul>		

判定シート

☆よい…◎(2点、まあまあ…○(1点、もう一歩…△(0点)

A ( ) B ( ) ( )

①主張のもとになる理由(根拠)をはっきりと話す  
ことができていた。A ( )、B ( )

②体験や具体例(資料)を挙げて意見を述べるこ  
とができていた。A ( )、B ( )

③場面に応じた言葉づかいや聞き方ができていた。  
A ( )、B ( )

④相手の主張の中心は何かを考えながら聞くことが  
できていた。(質問が的確) A ( )、B ( )

⑤最後の主張は説得力があった。A ( )、B ( )

合計 A 点、B 点

私の判定では、( )側の勝ちです。

メモ

「なるほどな」と思った主張

Aグループ

Bグループ

•

•